

## 第29期第7回常任理事会議事要旨

日 時：1997年3月12日（月）13時30分～19時00分

場 所：気象庁内地震火山部会議室

出席者：松野，関口，二宮，山岸，村松，新野，田中（博），木田，斎藤，竹村，塩原，永田  
以上12名

その他の出席：事務局（館）

### 議 事

1. 第29期第6回常任理事会議事録の確認
2. 各委員会報告

庶務…アフリカ気象技術会議開催への資金援助依頼  
ウガンダ気象局から 12月4日

1997年第4四半期にウガンダのカンバラで第4回東部・南部アフリカ気象技術会議が開催される件につき、気象学会に資金援助の依頼があり、対応を検討する必要がある。

国際学術交流を促進するため、国際会議への参加旅費を支援する従来のやり方から、会議開催そのものを支援する新しい事業を検討する必要がある。国際学術交流委員会に検討を依頼する。

- ・転載許可：1件

気象集誌 Vol. 38 に掲載された図（1葉）の転載

カナダ Waterloo 大学の環境研究講座 GEOG208 のテキストに、

- ・雑誌交換の依頼：ネパール水文気象局副局長より 1996年11月19日

当学会の「集誌」と先方の月刊誌を交換し、交流を深めたい旨、依頼があった。国際交流としてふさわしいものであり、予算を計上して対応するのが得策である。国際学術交流委員会に対応の詳細の検討を依頼する。

- ・出版物の複写権等委託済み表示の掲載：学協会著作権協議会より 3月3日

天気、集誌などの学会出版物の複写を当協議会に委託していることに関連し、委託の事実を各出版物に掲載するよう当協議会から依頼があった。

担当の各編集委員会で措置を検討する。

- ・文献交換協力への協力依頼：宇宙開発事業団調査国際部より 2月28日  
本依頼は先方への単なる文献提供だけでな

く、先方でデータベースを構築し第三者への文献提供サービスが含まれている。

今後の問題・影響等を電子情報委員会で検討した上で回答する。

- ・第10回「学協会共通問題に関する討論会」参加依頼：（社）日本工学会より 3月3日  
“21世紀に向かって学協会の生きる道 Part II”と題し、「21世紀の学会像」につき、4月17日に討論する予定。出席の方向で検討を進める。

- ・「サイスマ（SEISMO）月刊地震レポート」の定期購読依頼：（財）地震予知総合研究振興会地震調査研究センターより  
購入の必要なしと決定。

- ・「大学・研究所要覧1997」の刊行案内：文部省日本学術振興会編 発売 丸善  
購入することに決定。

- ・「ウェザー・ワールド '97」の開催：3月7～8日、東京大森ベルポートにて約1万人が参加。気象学会としては、以下により対応した。

(1) 後援団体として協力。

(2) 気象学会コーナー設置：学会事務局（館）対応（展示図書販売）。

(3) 開会式・レセプション：関口理事長代理が列席。

- ・学術情報センター電子図書館サービスの本運用開始への対応：条件を付けて参加する旨、申込み 2月25日提出（7項関連）

- ・BBS（電子掲示板）設置の関連で Tri-P コールアウトサービスとの契約更新。1997年4月30日で現契約が終了。契約を更新する。

会計…2月の収支報告。平成8年度収支の見通し。

- ・学会事務局の電話の ISDN 変更工事：3月19日に実施の予定。

天気…Vol. 44 No. 3（1997年3月号）掲載記事と、同 No. 4～5号掲載予定記事の紹介。

気象集誌…Vol. 75 No. 2（1997年の4月発行）の目次（掲載論文）の報告。

気象研究ノート…1997年度の発行計画（189号以降）の紹介。

講演企画…気象学会つくば大会 '97

(1) プログラムの紹介 詳細は「天気」4月号

の記事参照のこと。

2) 「ベストポスター賞」受賞者選定規定の決定 (第4回常任理事会議事録参照)

今大会は、新しい運営方式が導入され一般発表はすべてポスター形式とすることに関連し、「ベストポスター賞」が設けられるが、この選定基準を明確にした。

・1998年春季大会の準備

担当機関に対し理事長名の開催依頼書の送付から具体的な準備を始める必要がある。

依頼書を早急に発送する。

なお、つくば大会'97に関連して、今後、大会の運営方式も見直すことが考えられるとの指摘があったが、運営主体の確保・会場の予約等、解決すべき問題があることが指摘され、今後の検討課題となった。

教育と普及…第31回夏季大学の予定決定

1997年8月4～6日 東京大学山上海館にて。テーマは大気汚染と酸性雨。

・「教養の気象学」改訂版編集

3月中に原稿集約、9月出版の予定。

各賞…奨励金

選定委員会を開き、受領者を決定する。応募4件 3月18日。

電子情報…気象学会 BBS (電子掲示板) およびホームページの利用状況。

ホームページ開設により BBS の利用が減少。BBS はホームページに統合する方向で検討の必要がある。

3. 会員加入状況

新入会員12名を承認、退会員14名の報告。

4. 1997年度学会賞・藤原賞投票結果

全国理事の投票結果。以下を決定。

学会賞：佐藤信夫会員 (気象庁数値予報課)

藤原賞：関口理郎会員 (成蹊大学)

5. 1997年度日本気象学会総会議案

- ・各賞及び国際交流に関する細則等の改正 (「天気」3月号の記事参照のこと)

前常任理事会の検討を受けて、各賞及び国際交流に関する細則等の改正条文の最終案が庶務担当理事から提案され、検討の上、常任理事会として合意された。

全国理事会の承認を経て、総会に提案される。

6. 会員名簿の作成

会員名簿作成に当たり、従来の記載形態を変更するために必要な経費の見積もりが、庶務担当理事から提出された。① 新たな記載項目の資料収集と、② 名簿の作成・印刷および配布に必要な経費の内、① については1997年度に実施する、② については、a. 「天気」に添付し全会員に配布する案と、b. 希望する会員に販売する案に関し、更に検討を続けることになった。

7. 学術情報センターの電子図書館サービスへの参加

電子図書館サービスの本運用開始(平成9年4月)に関し、(定期購読者の減少など)当学会に不利にならないよう「天気」「集誌」等の発行から情報の提供までに時間差を設けるとの条件を付けて参加する旨(第6回常任理事会議事録参照)、当センターに申し込んだ(庶務報告参照)。

当センターからはまだ覚書交換の手続きを求められていないが、近々、協議を経て交換することになる見込み。

当センターから、図書館サービスの利用環境と利用手続きに関する案内資料が提供された。大学・短大・高等専門学校の教職員と大学院生、大学共同利用機関等の教職員、当センターの電子図書館事業に協力する学協会の正会員には利用資格があるとのこと。

学会員に、「天気」を通じて詳しく周知する。

8. 1997年度事業計画案・予算案

例年の事業内容に沿って計画した。学術情報センターの電子図書館サービスへの参加、会員名簿の作成、研究会として「日本における気象研究に関する現状と将来」を検討する会の発足などが1997年度の特徴。

9. IUGG (国際測地学地球物理学連合) の2003年大会を日本に招請する件

標記を地球物理学研連で検討しており、5月16日準備委員会が開催される。当学会として対応を検討する必要がある旨、問題提起があった。

資料を整理し、次の常任理事会で検討する。

最終決定は、1999年夏、英国 Birmingham で開催の会議で行われる見込み。